

進路だより

浜田水産高校

第5号 R1.9.27

進路指導部

今年の求人

9月16日から始まった採用試験もほぼ一回りし、後は回答待ちといったところです。受験願いや受験報告書に押印してもらうため職員室に来ていた3年生の姿もまばらとなり、シーズンも終わりに近いと感じます。後はみんなに良い知らせが届くことを願うしかない進路指導部となりました。次は進学組の出番ですが準備はいかがでしょうか。

今年は8月末で737件の求人票を受け付けました。昨年が732件だったので増減なしといってよいと思います。求人数は年ごとに大きく伸びてきましたが、遂に止まりつつあるのかも知れません。求人に来校された企業の採用担当者に、アメリカと中国の貿易摩擦の影響を尋ねてみましたが、「ないとはいえません。」という回答も少なくありませんでした。今後の景気動向が気になりますね。

採用試験の様子

試験の実施方法は様々でしたが、今年の3年生は現時点で22名が就職採用試験を受験しました。面接試験は全ての受験先で実施され、作文は12、学力試験は8、適性検査は3つの事業所等で行われています。試験の内容は面接試験のみという企業もあれば、面接・作文・学力・適性検査と受験者に厳しい(?)企業もありました。試験の組み合わせとその事業所数は以下のとおりです。

試験の組み合わせ	事業所数
面接試験のみ	8
面接・作文	6
面接・作文・学力	3
面接・学力	2
面接・作文・学力・適性検査	3

面接試験では自己PR(または自分の長所・短所の説明)ができなければいけません。これが面接試験での定番質問事項であることは、世の中に広く知られています。従って企業側は受験対策として、学校で十分指導されて面接試験に臨んでくると思っています。上手くできて当然、できなければ「アレ?」ということになりますね。1・2年生の皆さん、来年あるいは2年後には自分たちの試験です。受験報告を参考に、早めに受験対策を始めて下さい。

進学を考えている人へ

進学して自宅外通学をする場合、授業料や生活費など多額の費用がかかります。このような経済的な理由で進学をあきらめてしまうことがないよう、来年度から「給付型奨学金」の対象が拡充されるのを知っていますか。世帯収入・学習意欲などの要件を満たせば、私立大学に自宅外から通学する場合、最大で奨学金約91万円/年、授業料約70万円/年、入学金約26万円の給付を受けることができます。今年の3年生進学予定者には既に案内されていると思いますが、1・2年生にもこの制度があることをお知らせします。

詳しい内容は学校(総務部)に問い合わせるか、日本学生支援機構のホームページにアクセスして情報を入手して下さい。

1・2年生の皆さんへ(アドバイス)

今年も3年生の就職・進学指導を行って来ました。その中で先生方が進路希望の実現に必要なと感じたことを次にあげておきます。1・2年生の皆さんへアドバイスです。そのつもりで読んで下さい。

- ①これから自分が進もうとする世界(産業の内容・学校の教育内容など)の情報収集をしっかり行うこと。
- ②面倒くさがらず、文章を読んだり書いたりする訓練を積むこと。自分の考えを表現するためにこの能力は必須である。
- ③履歴書や志望理由書、作文や小論文はそれなりの字で書く必要がある。自分以外の人に読んでもらうという前提で、ていねいで読みやすい字を書く習慣を付けること。
- ④変化する社会に対応するため、学校教育は知識のみでなく、自分で課題に気付き、それを解決する力を身につけた人材育成へと移ってきた。現役の高校生も社会に出るまでの残された時間でこの力を付ける必要がある。

先生方からのアドバイスを4つあげました。日頃から心がけて取り組み、時間をかけて身に付けるべきものばかりですね。試験前になって慌てたり困ったりしなくてすむように、ぜひこれから実践して下さい。今後も先生方からアドバイスがあれば、その都度進路だより等でお知らせします。